

経営比較分析表（令和6年度決算）

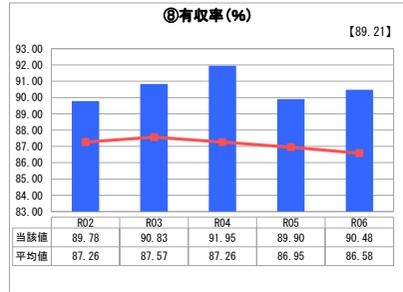
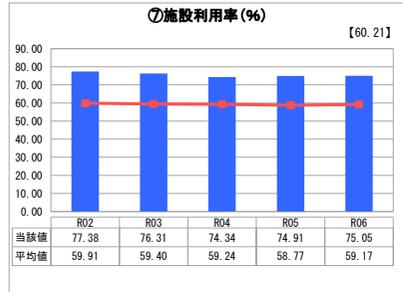
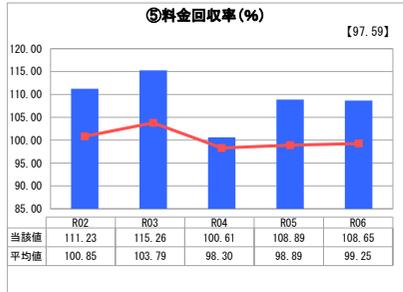
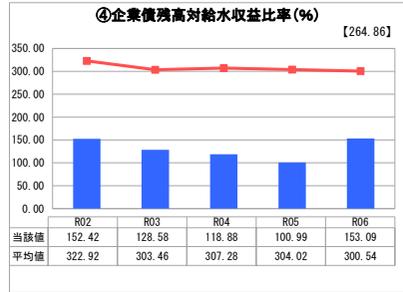
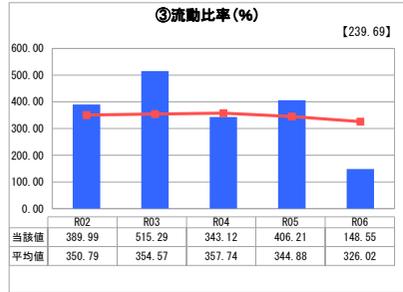
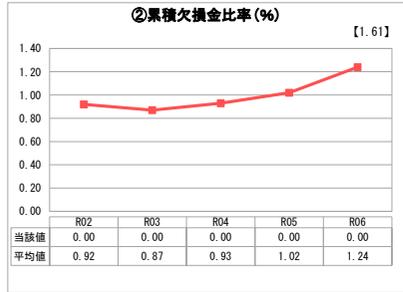
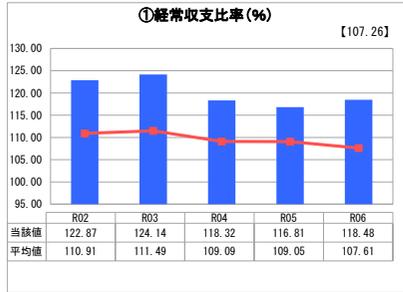
埼玉県 白岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	72.37	99.91	2,783	

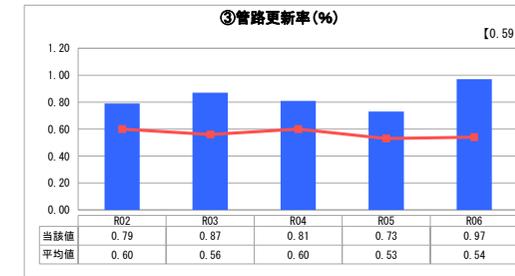
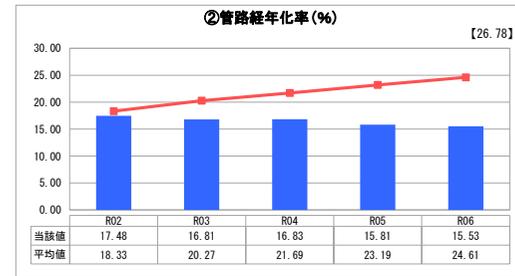
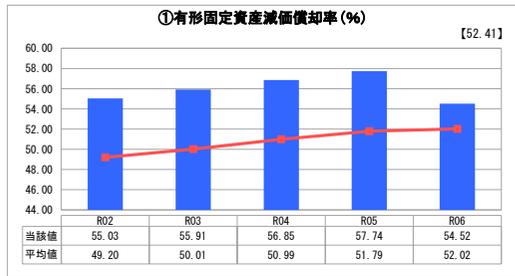
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,404	24.92	2,102.89
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
52,186	24.92	2,094.14

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

配水管修繕の増加や浄水場の下水道接続に伴う受益者負担金などにより費用が増加したため、⑥給水原価は増加したが、有収水量の増加により給水収益が増加したため、⑤料金回収率は前年度とおおむね同水準の約108.7%となった。

給水加入金収益が例年を大きく下回った前年度と比較し、令和6年度は例年並みの給水加入金収益があったことから、①経常収支比率は約1.7ポイント増加し、118.5%となった。

令和6年度は、浄水場設備改修工事に伴い約6.2億円の企業債を発行したことから、③流動比率が大きく減少し、④企業債残高対給水収益比率も増加したが、③流動比率は100%を上回る水準を維持し、④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均を大きく下回っており、過度に企業債に依存しない短期的な支払い能力を確保している。しかしながら、今後も計画的な施設設備の改築、更新を実施していく見込みであり、多額の出費を控える中、将来を見越した健全な経営に努める必要がある。

⑧有収率は、洗管作業を行った管路延長の差により増加した。引き続き漏水の抑制に努めるなど、有収率を向上させる取組を行っていく。

人口の増加傾向が落ち着きを見せ、人口が減少に転じる中、今後の人口推移を的確に見極めつつ経営改善を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

浄水場設備更新等の影響により、①有形固定資産減価償却率は減少したものの、類似団体平均を上回っており、管路や施設の改築更新の必要性が高まっている。令和6年度に実施した老朽管更新により、②管路経年化率は減少し、類似団体平均を下回るなど、計画的な管路更新の成果は見えてくるものの、適切な資産の更新ペースを見極めて、資産の改築更新を計画的に進めていく必要がある。

全体総括

現状は、財政の健全性を保っているものの、有形固定資産減価償却率が高く、将来的に資産の更新費用が増加していくなど、将来的な費用増加が見込まれる中、人口減少と節水傾向による給水収益の減少が懸念される。適切な施設更新とその財源確保を示した投資・財政計画に基づき、健全な経営に努めていく必要がある。